宝永小だより

No.4
福井市宝永小学校
令和6年5月28日

学校教育目標：ひとり立ちできる子　～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

令和６年度は、こんな学校を目指します！

本校では、今年度のスクールプランを下記のように作成しました（本校ホームページにも掲載）。本校の教育目標「ひとり立ちできる子　～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～」を掲げ、教育活動を進めていきます。

４月当初に、本校の「強み」と「弱み」を洗い出した上で、福井市教育委員会指定の6つの取組の中から、本校では「わかる授業づくり」と「居場所づくり・絆づくり」をつなげて、重点的に取り組むこととしました。今年度は、さらに、福井県教育総合研究所の「福井県版ポジティブ教育プログラム事業」を推進し、子どもたちには、新しい時代をたくましく生き抜く力を身に付けてほしいと考えています。そして、本校の研究主題を「自ら考動し、学び合う子を目指して　～主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成～」としました。

＜ポジティブ教育について学ぶ教職員＞

「地域を活用した学習・活動の工夫」では、宝永地区ならではの文化・歴史や人材を積極的に活用し、地域の魅力を理解する探究活動を進めていきます。そして、地域に誇りと愛情をもち、地域に貢献できる子を育成します。「望ましい生活習慣の確立」や「家庭・地域との協働体制の構築」も合わせて、より一層の教育効果を発揮できるよう、今後とも、保護者の皆様や地域の皆様とともに教育活動に努めます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

令和6年度 福井市宝永小学校 スクールプラン

福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
学校教育方針　学びをつなぐ・未来につなげる
～「つながる」を大切にした学校づくり～

本校児童の強み
- 真面目で、指示されたことには一生懸命に取り組む。
- 人懐っこく、子どもらしい。
- 学年を超えて仲良く交流できる。

本校児童の弱み
- 打たれ弱く、挫折を乗り越えることを苦手とする。
- 主体性に欠け、他力本願で、新しいことにチャレンジしようとする意欲が低い。
- 言語での表現力が弱く、思いを表出することが難しい。

校訓　原泉　「原泉混々として昼夜をおかず」という孟子の言葉を書いた福井藩１６代藩主 松平春嶽の書に由来する。

教育目標　ひとり立ちできる子
～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～

研究主題　自ら考動し、学び合う子を目指して
～主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成～

保護者・地域・教職員の強み
- 歴史と伝統のある学校である。
- 史跡や文化・公共施設、古くからの商業地を有し、様々な学習素材を活用できる。
- 地域の人材が豊富であるとともに、地域や保護者の学校教育活動への理解度が高く、協力的である。
- 教職員間の雰囲気が温かく、お互いが気軽に話したり、相談したりできる。

保護者・地域・教職員の願い
- 新しい時代をたくましく生き抜く力を身に付けてほしい。
- 地域に誇りと愛着をもち、地域に貢献できる子になってほしい。
- 自分で考え、行動できる子になってほしい。

重点目標

確かな学力の向上 進んで学び合える子	豊かな心の育成 協力し合える子	健やかな心と体の育成 心と体を鍛える子	家庭・地域との連携 ふるさとを大切にする子

わかる授業づくり
◎確かな知識や豊富な経験の獲得
- 基礎基本の定着
- 実体験を伴う学習の充実

◎教科等横断的な視点での授業づくり
◎課題探究に向けての学習環境づくり
- ＩＣＴの活用
- 読書活動の推進

◎主体的・対話的で深い学びの実現
- 自己決定できる場の設定
- 思いがつながる場の設定の工夫

◎教職員の自己研鑽と協働体制

- (児)学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広めたりできている　90%以上
- (児)授業中、分かる喜びや、できる楽しさを感じられる　95%以上
- (教)全教育活動で自己決定する場を多く設定し児童が学年相応の表現力を身につけるように工夫している　95%以上

居場所づくり・絆づくり
◎ポジティブ教育の推進
- 社会性の育成
- 認め合い、支え合う学級づくり
- 逆境に負けない心の育成

◎思いやりの心の醸成
- 人権教育を含めた道徳教育の充実
- にこフレ（縦割り）活動の充実
- 「思いやり清掃」の推進

◎教職員による児童理解の充実
- いじめを見過ごさない生徒指導
- 規律ある生活態度の定着
- 規範意識や自己肯定感の涵養

- (児)学校が楽しい　95%以上
- (児)みんなで何かをするのは楽しい　95%以上
- (児)いじめを見たら大人に知らせたり、とめたりすることができる　80%以上
- (保)我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である　95%以上
- (教)児童の良い点や頑張っている点を積極的に認め、ほめている　90%以上

心づくり・体づくり
◎自己の健康・体力の向上
- 運動習慣づけの推進
- 自己管理能力を高める保健指導

◎望ましい生活習慣の確立
- 食育・健康教育の推進
- 早寝・早起き・朝ごはんの推進
- 挨拶運動の推進
- スマートルールの定着

◎防災意識や危機管理能力の高揚
- 登下校の安全確保と安全教育の充実
- 計画的に実施する避難訓練の充実

- (児)体育の授業以外に、１日３０分以上、体を動かしている　80%以上
- (児)眼科受診率・歯科受診率　85%以上
- (児)早寝早起き朝ご飯などの規則正しい生活ができている　90%以上
- (保)我が子は、友達や地域の人にあいさつしている　80%以上
- (保)我が子は、「我が家のスマートルール」を守っている　70%以上

家庭・地域や中学校区との連携
◎地域を活用した学習・活動の工夫
- 地域の資源や人材の積極的活用
- 将来の夢や生き方について考える教育活動の推進

◎家庭・地域との協働体制の構築
- 関係団体との協働事業の推進（学校ボランティア・見守り隊）
- 情報発信による子どもの成長の共有（学校公開・学校だより・学年だより・HP）

◎園小中連携の継続と移行支援の充実

- (児)郷土福井を大切にしたい　95%以上
- (児)将来の夢やめざす目標をもっている　90%以上
- (保)学校は地域の人材や環境を生かし、つながりを大切にしている　90%以上
- (保)子どものことで、気軽に学校に相談できる　90%以上
- (教)地域の人材や環境を積極的に活用している　90%以上

【業務改善のための取組】
①終了時刻の明確化による会議時間の短縮　②業務推進日の設定　③タブレットを活用した会議・連絡（情報の共有）　④留守番電話の活用　⑤文書ファイルの適正化による業務の効率化

5年生　貴重な田植え体験　5月10日（金）

「一乗谷あさくら水の駅」の体験農園で、子どもたちは、田植えを体験しました。福井市農村整備課や地元農家の皆様の丁寧なご指導のもと、子どもたちは枠回しの体験をし、その後、田んぼに付けられた目印に苗を手で植えていきました。子どもたちは、泥だらけになりながら、苗を植える大変さを実感し、食に対する感謝の気持ちをもつことができました。秋には、稲刈りの体験をする予定です。

＜田植えの様子＞→

6年生　充実した修学旅行　5月9日（木）・10日（金）

出発の際は雨に降られましたが、その後は晴天に恵まれ、子どもたちは、体調を崩すこともなく、仲間と協力して、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。そして、すべての場所で、熱心に説明を聴き、多くのことを学ぶことができました。

一日目

金閣寺
バスガイドさんの案内で、新緑の境内に映える金閣寺を見学しました。

西陣織会館　≪西陣織体験≫
ミニ手機で手織体験をしました。素敵なテーブルセンターが完成しました。

奈良公園
現地のガイドさんの案内で、南大門・大仏殿・二月堂・若草山を見学しました。現地でしか知りえない、本物の大きさや歴史に触れることができました。鹿と触れ合うこともできました。

＊子どもたちが「修学旅行のしおり」に綴った感想を紹介します。

＜金閣寺＞ぼくが、今日、一番すごいと思ったのは、金閣寺です。まず、最初に見たときです。1階もすごかったし、特に、2・3階が金ぱくで包まれていて、そのごうかさにびっくりしました。

＜西陣織体験＞私は、1日目の中で一番、西陣織が思い出に残っています。初めは、糸を一つ一つ間においていくと思っていたけれど、ペダルをふむだけで、糸が上下にわかれていって、その間に糸を通すだけでジグザグに糸が通って、とてもおもしろかったです。糸を通した後に、「ガシャン。」と、3回すると、糸がまっすぐになって、気持ちよかったです。

＜東大寺・奈良公園＞東大寺では、寺が戦争で焼けたりしたけれど、何度も直されたことにおどろきました。ガイドさんのおかげで、奈良の寺の魅力がよくわかりました。また、しかせんべいをあげたときに、なめられたので、ちょっとこわかったですが、かわいいなとも思いました。家族におみやげを買えたので、よかったです。

二日目

ＵＳＪ
仲間とグループでアトラクションに乗ったり、買い物をしたりして楽しんでいました。

カップヌードルミュージアム
ここは、安藤百福　発明記念館です。「マイカップヌードルファクトリー」では、自分でデザインしたカップに、４種類の中から好みのスープを選び、１２種類の具材の中から４つのトッピングを選び、オリジナルのカップヌードルを作りました。

東大阪　石切温泉
ホテルセイリュウ
東大阪平野を一望できるホテルで宿泊。夕食も朝食もバイキングで、おいしい食事を楽しむことができました。天然温泉で、露天風呂もありました。

＜ＵＳＪ＞私は、ＵＳＪの中で、班の人といっしょに時間を考えて、いろいろなところを回ることができました。あえて、ご飯の時間をずらしたり、すいているアトラクションに回ったりして工夫しました。たくさんのアトラクションに乗れたので、よかったです。

＜カップヌードルミュージアム＞カップヌードルミュージアムでは、パッケージに上手に絵をかけました。具材選びでは、ふだん食べる具材もあったけれど、見たことのない具材もたくさんありました。世界で1つだけのカップヌードルを作れたので、うれしかったです。

＜修学旅行を終えて＞
・この２日間、とても楽しい修学旅行になったなと思いました。
・修学旅行で学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいです。
・この楽しい、勉強したという経験を生かして、これからもリーダーシップを発揮しながら、仲がもっとよいクラスをつくりたいです。

楽しく踊ろう「どんと宝永」　5月15日（水）

今年度も、全校で、「どんと宝永」の練習をしました。昨年度に引き続き、宝永公民館の民謡クラブの皆様にご来校いただきました。繰り返し練習するうちに、間違えずに踊ることができるようになりました。おかげで、宝永区民体育祭当日も、子どもたちは「どんと宝永」を楽しく踊ることができました。民謡クラブの皆様、本当にありがとうございました。

＜「どんと宝永」練習の様子＞

＊今年度の修学旅行も無事に実施でき、子どもたちにとって、有意義な学びの修学旅行になったことを喜んでいます。保護者の皆様は、お子様から土産話をお聴きいただけましたでしょうか。同行して、子どもたちの素敵な場面に、たくさん出会いました。そのうちの2つをご紹介します。

【その1】京都市内を観光バスで移動中、バスガイドさんから北野天満宮の説明がありました。その中で、「学問の神様」という言葉に子どもたちは敏感に反応し、北野天満宮の前を通るときに、「勉強ができるようになりますように。」と、手を合わせて真剣にお参りをしていました。そして、沈黙の時間がしばらく続きました。改めて、素直な子どもたちだなあと思いました。子どもたちの願いが届きますように。

【その2】大阪市内を観光バスで移動中、子どもたちは、高層ビルの多さに驚き、その高層ビルの間を縫うように走る高速道路にも福井との違いを感じ、「すごいなあ。」とつぶやいていました。その後、池田市役所前からカップラーメンミュージアムへ歩いて向かう途中、商店街の交差点で、ある子が、「こんな場所は、福井には駅前しかないなあ。」と言い出しました。「ここと福井とどっちがいい？」と尋ねると、近くにいた子どもたちからは、一斉に、「福井がいい。」という答えが返ってきました。「県外の大学に行って、先生になって、福井へ帰ってくる。」と宣言する子もいて、なんだか、嬉しくなりました。

＊5月19日（日）の宝永区民体育祭では、子どもたちが、保護者の皆様や地域の皆様にお世話になり、ありがとうございました。子どもたちは、地域の一員としての役割を果たすことができましたでしょうか。子どもたちからは、「楽しかった。」という声が聴かれました。本校を卒業した中学生にも久しぶりに再会し、会話を交わすこともできました。